

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	技術英語 I		
科目基礎情報							
科目番号	0021	科目区分	専門 / 必修				
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2				
開設学科	機械・電子システム工学専攻	対象学年	専1				
開設期	後期	週時間数	2				
教科書/教材	プリント使用						
担当教員	荒木 英彦						
到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学技術に関する英文で典型的に用いられる基本表現を理解し、活用できるようになる。</li> <li>・ 科学技術に関する英文でよく用いられる、数字・数量・単位に関する表現を理解し、活用できるようになる。</li> <li>・ 科学技術に関する英文でよく用いられる句読法を身につける。</li> <li>・ 科学技術に関する英文の内容を理解するためのリーディング能力を身につける。</li> </ul>							
ループリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)				
評価項目1	Technical term の語彙力が工業英語2級程度	Technical term の語彙力が工業英語3級程度	Technical term の語彙力が工業英語3級程度以下				
評価項目2	技術的知識に基づく技術英語文献の和訳ができる	技術的知識に基づく技術英語文献の和訳が大体できる	技術的知識に基づく技術英語文献の和訳ができない				
評価項目3	工業英語2級程度の問題が解ける	工業英語3級程度の問題が解ける	工業英語3級程度の問題が解けない				
学科の到達目標項目との関係							
JABEE C-3							
教育方法等							
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 準学士課程で学習した英文法、英単語・熟語を復習し、身につけておくことが肝要である。</li> <li>・ 授業中の課題をきちんとこなすことで実力がつく。</li> <li>・ 工業英検2級に合格できる能力を身につけることを目標とする。</li> </ul>						
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原則として、プリントを使用して行う。</li> <li>・ 練習問題により英作文のテクニックを向上させる。</li> <li>・ 練習問題により英文の句読法を身につける。</li> <li>・ 練習問題により英文要約のテクニックを向上させる。</li> </ul>						
注意点	<p>前期・後期とも、中間試験および定期試験を実施し、試験成績(2回の試験の平均点)を80%、課題の成績を20%として評価する。 不明な点は随時質問すること。</p>						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	授業の目標と学習方法のガイダンス	授業の目標と学習方法について理解する。			
		2週	・ 基本英作文法(1)	文型、品詞について理解する			
		3週	・ 基本英作文法(2)	動詞グループについて理解する			
		4週	基本英作文法(3)	形容詞グループについて理解する			
		5週	基本英作文法(4)	副詞グループについて理解する			
		6週	技術英語の特徴	技術英文の特徴を理解する			
		7週	応用英作文法(1)	簡潔な文にする方法について理解する			
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	中間テスト返却	中間テストの範囲の学習事項において理解が不十分なところの確認			
		10週	英文句読法(1)	ピリオド、コンマ、コロンのついて理解する			
		11週	英文句読法(2)	ハイフン、ダッシュ、括弧について理解する			
		12週	英文句読法(3)	略語、イタリック体について理解する			
		13週	英文句読法(4)	語の分割について理解する			
		14週	応用英作文法(1)	文の連結方法について理解する			
		15週	要約練習	要約の仕方について理解する			
		16週	定期試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3		
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3		
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3		
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3		
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計

総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0